

2025年1月27日  
広島高速交通株式会社

## 旅客運賃の上限変更認可申請について

広島高速交通株式会社（本社：広島市安佐南区、代表取締役社長：政氏 昭夫）は、本日2025年1月27日付で、国土交通省中国運輸局長へ鉄道事業及び軌道事業の旅客運賃の上限変更認可申請を行いました。申請理由及び申請概要等は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 申請理由

当社は、昭和40年代からの急激な宅地開発による人口の急増に伴い深刻な交通問題が生じていた広島市北西部の安川沿いの地域の交通問題を抜本的に解消し、さらに広島都市圏の交通体系を高度で効率的なものにするために導入が位置付けられた、地域の交通需要に適応した新交通システム「アストラムライン」の建設、経営のため、広島市が51%を出資して設立した第三セクター方式による鉄道会社であり、広島市中心部と北西部丘陵地区を結ぶ18.4kmの路線を営業しております。

1994年（平成6年）8月の開業以降、約30年にわたって企業努力を重ね、安全性を維持しながら運賃水準を据え置いてまいりました（消費税の税率引き上げに伴う改定を除く）。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅客収入が大幅な減収となった中において、持続可能な輸送サービス提供のため、老朽化した電気設備及び駅設備の更新や大規模修繕を推進する必要があり、また、将来にわたって必要な人材を確保するための人件費の増加、更には車両更新に伴う減価償却費や昨今の物価上昇等に伴う動力費ほか諸経費の増加が経営を圧迫しております。このため、長期的な経営の健全化を確保するためには、運賃改定による収支改善が必要との判断に至りました。

今後も安全を最優先として、お客さまに安心・快適にご利用いただけますよう、輸送品質の維持、向上に努めるとともに、長期的に安定的な事業運営に取り組み、公共交通機関としての使命を果たすため、運賃の変更について申請するものです。ご利用のお客さまにおかれましては、何卒事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

#### 2. 実施予定日

2025年10月1日（予定）

### 3. 上限運賃と実施運賃について

鉄軌道事業者は、適正な原価に適正な利潤を加えた範囲内で「上限運賃」を定める必要があり、鉄道事業法及び軌道法に基づき、中国運輸局長より認可を受けなければなりません。今般申請した「上限運賃」が認可された後、上限運賃の範囲内で「実施運賃」（実際にお客様より収受する運賃）を設定し、中国運輸局長へ届出いたします。

新運賃は、「実施運賃（予定）」の欄をご確認ください。

### 4. 改定率

	定期外	定期			合計
		通勤	学生	計	
上限運賃	10.5%	19.1%	10.6%	17.1%	13.2%
実施運賃	10.1%	18.7%	10.0%	16.6%	12.8%

### 5. 申請・現行運賃比較表

【普通旅客運賃】

(単位：円)

距離	(参考) 本通 <small>ほんどおり</small> からの区間	現行運賃	上限運賃	実施運賃（予定）	
					運賃差
～ 2.0 キロ	本通 <small>ほんどおり</small> ～新白島 <small>しんはくしま</small>	190	220	220	30
～ 4.0 キロ	本通 <small>ほんどおり</small> ～不動院前 <small>ふどういんまえ</small>	230	260	260	30
～ 6.0 キロ	本通 <small>ほんどおり</small> ～西原 <small>にしはら</small>	270	300	300	30
～ 9.0 キロ	本通 <small>ほんどおり</small> ～大町 <small>おおまち</small>	320	350	350	30
～12.0 キロ	本通 <small>ほんどおり</small> ～高取 <small>たかとり</small>	370	400	400	30
～15.0 キロ	本通 <small>ほんどおり</small> ～大原 <small>おおばら</small>	410	440	430	※20
～18.0 キロ	本通 <small>ほんどおり</small> ～大塚 <small>おおづか</small>	450	480	460	※10
～19.0 キロ	本通 <small>ほんどおり</small> ～広域公園前 <small>こういきこうえんまえ</small>	490	520	490	※ 0

※12 キロを超える区間から逡減いたします。

※18 キロを超える区間は据え置きます。

## 【定期旅客運賃】

(単位：円)

距離 (キロ)	通勤定期 (1 か月)				学生定期 (1 か月)			
	現行 運賃	上限 運賃	実施運賃 (予定)	運賃差	現行 運賃	上限 運賃	実施運賃 (予定)	運賃差
～ 2.0	7,510	8,580	8,580	1,070	5,770	6,600	6,600	830
～ 4.0	9,180	10,140	10,140	960	7,060	7,800	7,800	740
～ 6.0	10,850	11,700	11,700	850	8,350	9,000	9,000	650
～ 9.0	12,510	13,650	13,650	1,140	9,620	10,500	10,500	880
～12.0	14,190	15,600	15,600	1,410	10,910	12,000	12,000	1,090
～15.0	15,860	17,160	16,770	910	12,190	13,200	12,900	710
～18.0	17,520	18,720	17,940	420	13,480	14,400	13,800	320
～19.0	19,200	20,280	19,200	※ 0	14,770	15,600	14,770	※ 0

・2か月（学生定期のみ）、3か月、6か月の定期券も改定予定です。

※18キロを超える区間は据え置きます（通勤定期3か月、6か月を除く）。

## 6. 鉄軌道部門収支の実績及び推定

(単位：百万円)

	2023年度 (実績)	2026～2028年度推定 (3年間平均)	
		現行運賃	申請運賃 (上限額)
収入※	4,598	4,993	5,626
支出	5,069	5,815	5,815
差引	▲471	▲822	▲189
収支率	90.7%	85.9%	96.7%

※運賃収入、運輸雑収入、営業外収入

## 7. 運賃収入内訳

(単位：百万円)

	2023年度 (実績)	2026～2028年度推定 (3年間平均)	
		現行運賃	申請運賃 (上限額)
定期外	2,612	2,801	3,095
定期	1,766	1,980	2,318
合計	4,378	4,781	5,413

## 8. 需要見通し

(単位：千人)

	2023年度 (実績)	2024年度 (推定)	2025年度 (推定)	2026年度 (推定)	2027年度 (推定)	2028年度 (推定)
定期外	10,784	10,827	10,859	10,892	10,920	10,953
定期	12,560	12,861	13,119	13,381	13,649	13,922
合計	23,344	23,688	23,978	24,273	24,569	24,874
前年比	108.2%	101.5%	101.2%	101.2%	101.2%	101.2%

※端数処理により合計が合わない場合があります。

## 9. 設備投資実績・計画

### (1) 設備投資実績と計画（老朽設備更新等）

(単位：百万円)

	2023年度 (実績)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)	2027年度 (計画)	2028年度 (計画)
車両	3,914	2,796	-	-	-	-
駅設備	35	326	1,570	-	-	-
電気設備	841	411	1,325	1,519	2,168	1,049
その他	66	107	14	9	16	3
合計	4,856	3,640	2,909	1,528	2,184	1,052

※補助金は含みません。

### (2) 主な投資計画の内容

開業時から使用してきた老朽化が進んだ車両、駅設備、電気設備などの更新を適切に実施することで、安全・安定輸送を確保し、お客さまが快適にご利用いただける環境整備に努めてまいります。

#### ① 車両

- ・新型7000系車両の導入（2019年度から継続：全24編成）

#### ② 駅設備

- ・ICカード対応機器の更新（全22駅）
- ・ICカードシステムの更新

#### ③ 電気設備

- ・受電設備、変電設備の更新（駅電気室、変電所）
- ・エレベータ設備の更新（城北駅ほか）
- ・信号線の更新（ATC/TDループ線ほか）

- ・高圧送電線、高圧配電線の更新
- ・き電線の更新
- ・駅舎照明設備の更新
- ・監視装置、監視設備の更新（光伝送装置、ITV 監視装置ほか）

#### ④ その他

- ・凍結防止剤散布装置の導入（新型 7000 系車両に搭載）ほか

### 10. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅客収入が大幅な減少となった中において、設備投資や修繕の時期、数量・規模の見直しや効率的な施工の実施を行うとともに、その他経費全般にわたり支出抑制や節減に努めてまいりました。また、広島市や沿線の企業・団体と連携したタイアップ企画などにより利用促進に取り組んでまいりました。

今後については、安全・安定輸送の確保を最優先に輸送品質の維持、向上を図りつつ、収入確保の施策などにより、長期的に安定的な事業運営に取り組んでまいります。

### 11. 運賃・料金の多様化の内容

○ご好評をいただいている商品・サービス一覧

- ・「一日乗車券」

アストラムライン全線で一日何回でも乗り降り自由な乗車券です。

	現行		改定後	
大人	950 円	⇒	900 円	※価格値下げ
小児	480 円	⇒	450 円	※価格値下げ

※15 キロを超える区間（460 円、490 円）の利用促進のため値下げいたします。

- ・「特定割引回数券」

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳のうち、

いずれかの交付を受けている方など、運賃が割引となる方限定の回数券です。

大人普通旅客運賃の半額を端数計算した額の 10 倍の金額が発売運賃となります。

距離	発売運賃			大人普通旅客運賃 (特定割引：予定)
	現行		改定後	
～ 2.0 キロ	1,000 円	⇒	1,100 円	※価格改定 110 円
～ 4.0 キロ	1,200 円	⇒	1,300 円	※価格改定 130 円
～ 6.0 キロ	1,400 円	⇒	1,500 円	※価格改定 150 円

～ 9.0 キロ	1,600 円	⇒	1,800 円	※価格改定	180 円
～12.0 キロ	1,900 円	⇒	2,000 円	※価格改定	200 円
～15.0 キロ	2,100 円	⇒	2,200 円	※価格改定	220 円
～18.0 キロ	2,300 円	⇒	2,300 円	※価格据え置き	230 円
～19.0 キロ	2,500 円	⇒	2,500 円	※価格据え置き	250 円

## 12. 利用者サービスの向上策

### ○輸送サービスの向上

#### ・新型 7000 系車両の導入

新型車両は、「冷房ほか空調機能」、「監視カメラ設置による防犯機能」、「全ての車両にフリースペースを設けることによる車いすやベビーカーご利用者などのバリアフリーへの配慮」が向上し、より安全・快適にご利用いただけるようになっております。

### ○駅設備の充実

#### ・IC カード対応機器、システムの更新

交通系 IC カード「PASPY」のサービス終了に伴い、当社では 2024 年 11 月 30 日に取扱いを終了し、「ICOCA」のみのご利用に移行しました。JR 西日本とアストラムラインの連絡定期券の販売や連携企画などの JR 西日本のサービスをご利用できるようになり利便性が向上しました。また、機器・システムの更新にあたり、ベビーカーを利用する方や車いすの方、スーツケースなどの大きな荷物を持たれた方が利用できるよう各駅に幅広の自動改札機の設置を進めます。さらに、カメラ付きの自動券売機を各駅に設置し、より円滑に遠隔でのご案内ができるようにするなど旅客サービスの質的向上を図ってまいります。

#### ・クレジットカード決済の導入

かねてよりご要望をいただいておりますクレジットカード決済につきまして、定期券発売窓口や自動券売機での定期券購入時にご利用いただけるように整備を進めてまいります。

### ○駅のリニューアル

#### ・エレベータ設備の更新

#### ・各駅の多目的トイレ（だれでもトイレ）のオストメイト対応改修

#### ・駅内の案内誘導サインやトイレ記名サイン改修

老朽化が進んだエレベータの更新やトイレの改修のほか、経年劣化した案内誘導サインを、色彩により視認しやすい統一感を持ったデザインに改修を進めてまいります。

### 13. 情報へのアクセスについての情報

(1) ホームページによるご案内

アドレス <https://www.astramline.co.jp>

(2) 運賃・料金に関するお問い合わせ先

運輸部営業課 電話 (082) 830-3115 (平日 9:00~17:45)

以 上